

[シラス]

1. 経年経過

バッチ網漁業の漁獲量は、西薩海域では、1999年の5,450トンピークに減少傾向を示し、2002, 2003年と1,000トンを下回り低調に推移しました。その後、2004年は3,507トンと比較的好調に推移しましたが、2005年以降減少傾向を示し、2024年は91トンと過去最低の漁獲量となりました。

志布志湾海域では、2007年まで増加傾向を示しましたが、その後、1,000トン前後で増減を繰り返しながら推移し、2024年は301トンと過去最低の漁獲量となりました。

2. 2025年1~2月の漁況の経過

西薩海域ではまとまった水揚げがありませんでした。

志布志湾海域では、カタクチシラス・マイワシシラス主体に54.5トンの水揚げで、前年の134%、平年の137%でした。

3. 2025年4~6月期の見通し

漁獲の主体は、カタクチシラスでしょう。

来遊量は西薩海域は、直近の漁模様から前年(91トン)・平年(163トン)を下回ると考えられます。

志布志湾海域は、直近の漁模様から前年(40トン)並みで、平年(193トン)を下回ると考えられます。

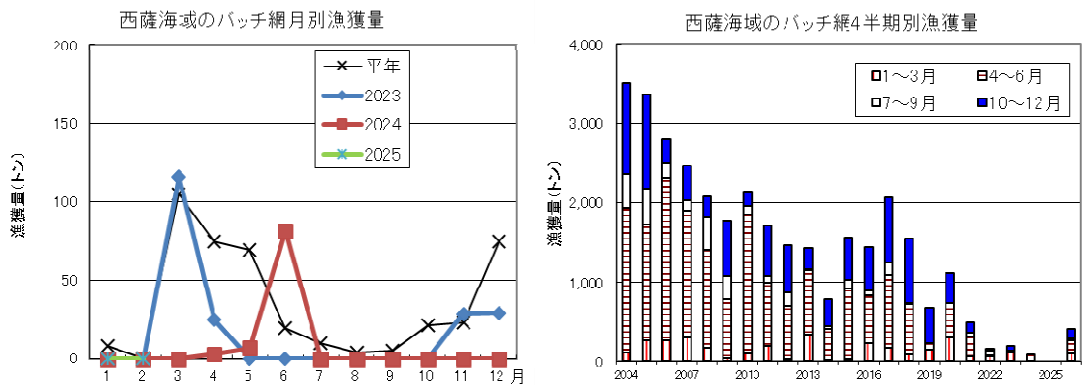
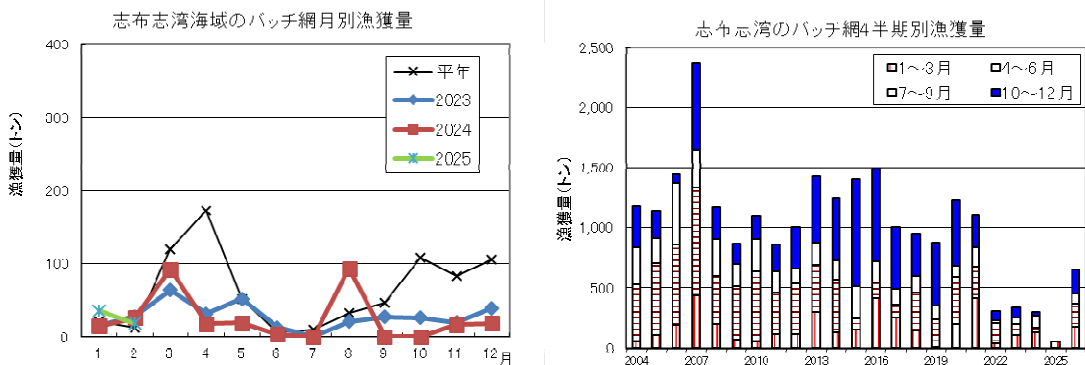


図 西薩海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)



志布志湾海域バッチ網漁業の漁獲量変化(2漁協計)

※平年値は過去5年の平均値(AV)の水揚量を使用